

巨理町立小・中学校教育環境
整備計画検討委員会

アンケート結果報告書(数値・グラフ編)



□□□□□□□ アンケート調査等の概要 □□□□□□□

- 1 調査期間 令和3年1月5日～令和3年1月20日
- 2 調査対象者 ①町立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の方々
②①以外で巨理町に住民票を有する児童生徒の保護者の方々
③未就学児の保護者の方々

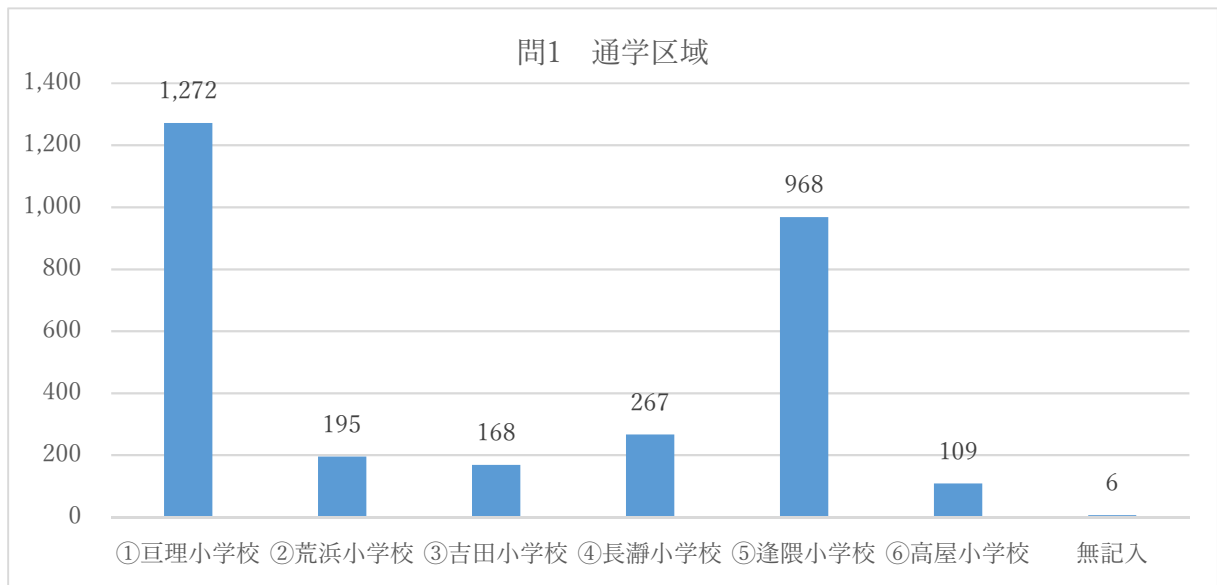
計 4,034人

- 3 回収率 2,985人回収 回収率 74.0%

問1 現在お住まいの住所はどこの小学校区ですか。

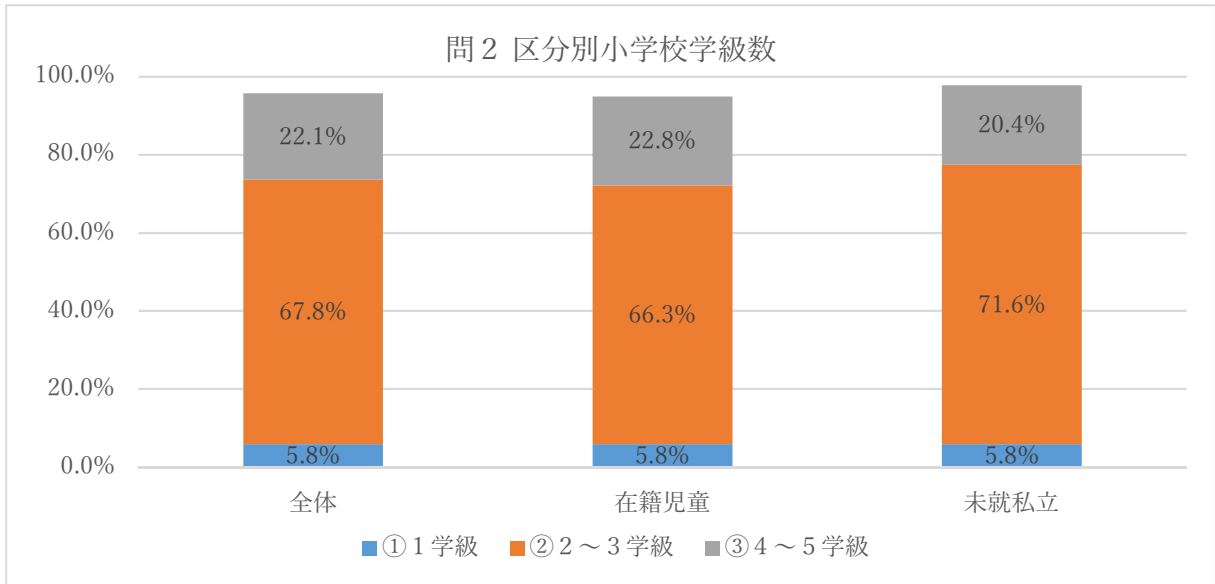
※小規模特認校制度を利用してお子さんが高屋小学校に通学している場合は「高屋小学校区」となります。

①巨理小学校区	1,272 (42.6%)
②荒浜小学校区	195 (6.6%)
③吉田小学校区	168 (5.6%)
④長瀬小学校区	267 (9.0%)
⑤逢隈小学校区	968 (32.4%)
⑥高屋小学校区	109 (3.6%)
無記入	6 (0.2%)



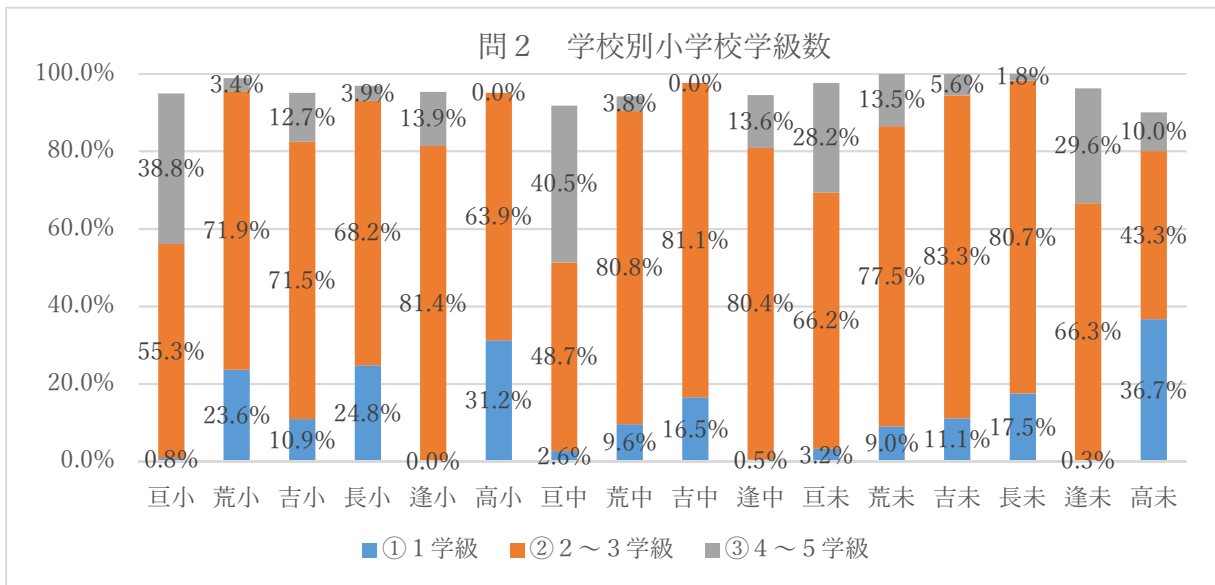
問2 小学校における一つの学年での学級数は、どの程度が望ましいと考えますか。

全 体 ②2～3学級程度・・・67.8%
 ③4～5学級程度・・・22.1%
 ①1学級・・・15.6%
 在籍児童 ②66.3% ③22.8% ①5.8%
 未就私立 ②71.6% ③20.4% ①5.8%



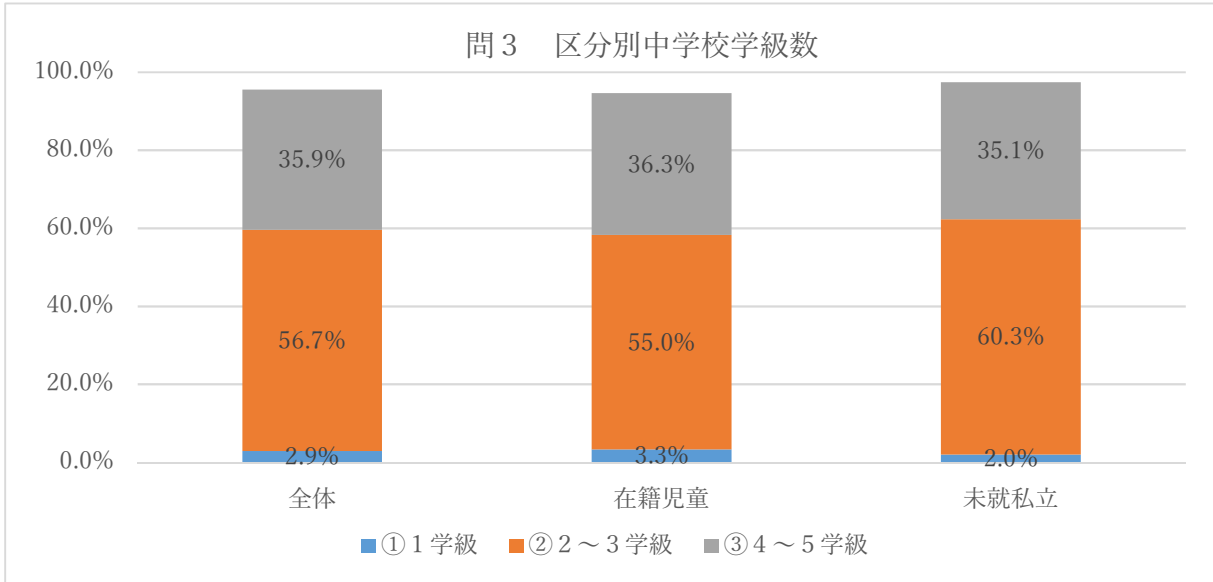
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

亘小	②55.3%	③38.8%	①0.8%	荒小	②71.9%	①23.6%	③3.4%
吉小	②71.5%	③12.7%	①10.9%	長小	②81.4%	①24.8%	③3.9%
逢小	②81.4%	③13.9%	①0.0%	高小	②63.9%	①31.2%	③0.0%
亘中	②48.7%	③40.5%	①2.6%	荒中	②80.8%	③9.6%	①3.8%
吉中	②81.1%	①16.5%	③0.0%	逢中	②80.4%	③13.6%	①0.5%
亘未	②66.2%	③28.2%	①3.2%	荒未	②77.5%	③13.5%	①9.0%
吉未	②83.3%	①11.1%	③5.6%	長未	②80.7%	①17.5%	③1.8%
逢未	②66.3%	③29.6%	①0.3%	高未	②43.3%	①36.7%	③10.0%



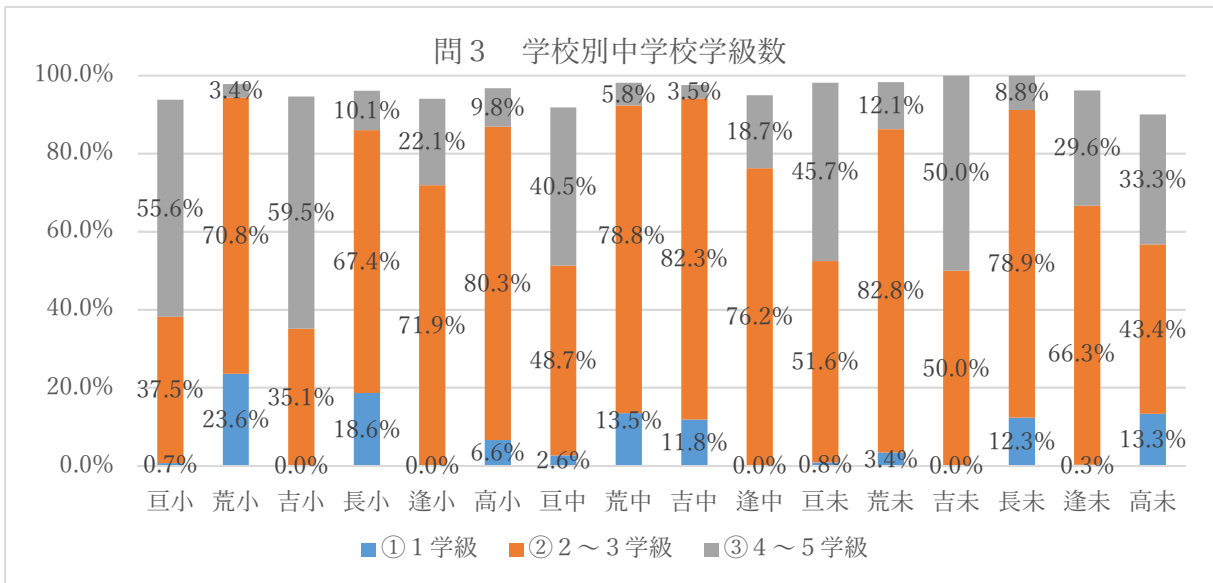
問3 中学校における一つの学年での学級数は、どの程度が望ましいと考えますか。

全 体 ②2～3学級程度・・・56.7%
 ③4～5学級程度・・・35.9%
 ①1学級・・・2.9%
 在籍児童 ②55.0% ③36.3% ①3.3%
 未就私立 ②60.3% ③35.1% ①2.0%



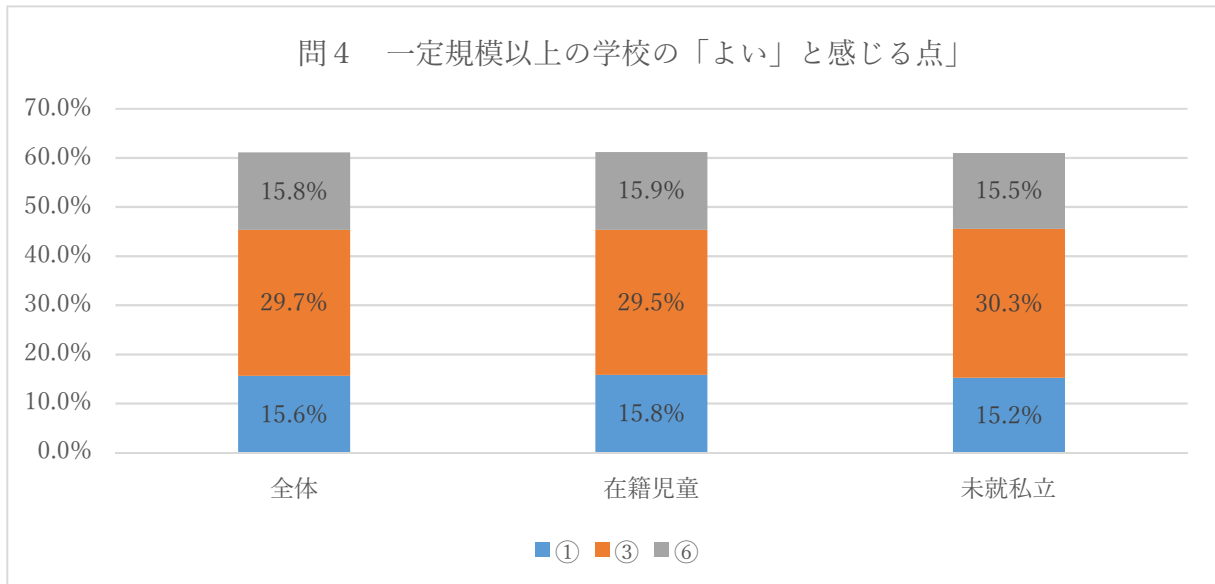
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

亘小	③55.6%	②37.5%	①0.7%	荒小	②70.8%	①23.6%	③3.4%
吉小	③59.5%	②18.6%	①0.0%	長小	②67.4%	①18.6%	③10.1%
逢小	②71.9%	③22.1%	①0.0%	高小	②80.3%	③9.8%	①6.6%
亘中	②48.7%	③40.5%	①2.6%	荒中	②78.8%	①13.5%	③5.8%
吉中	②81.1%	①11.8%	③3.5%	逢中	②76.2%	③18.7%	①0.0%
亘未	②51.6%	③45.7%	①0.8%	荒未	②82.8%	③12.1%	①3.4%
吉未	<u>②350.0%</u>		①0.0%	長未	②78.9%	①12.3%	③8.8%
逢未	②66.3%	③29.6%	①0.3%	高未	②43.4%	③29.6%	③13.3%



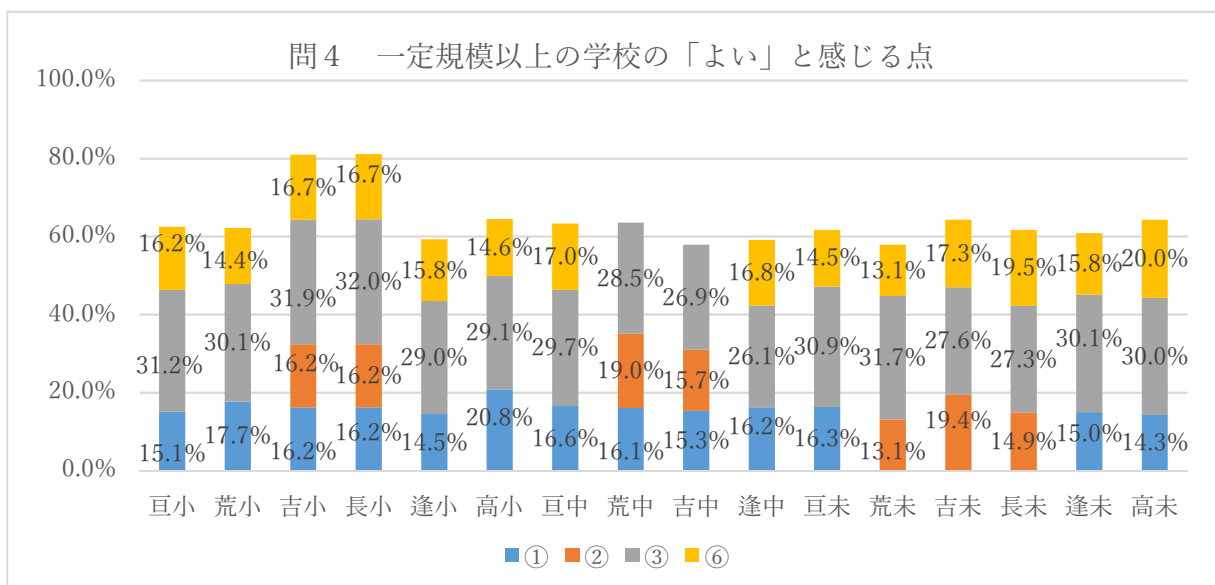
問4 一定規模以上（人数の多い）の学校の「よい」と感じる点（3つ）（上位3位）

- 全 体 ③人間関係の幅が広がる・・・29.7%
 ⑥大勢で様々な活動ができる・・・15.8%
 ①切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である・・・15.6%
- 在籍児童 ③29.5% ⑥15.9% ①15.8%
- 未就私立 ③30.3% ⑥15.5% ①15.2%



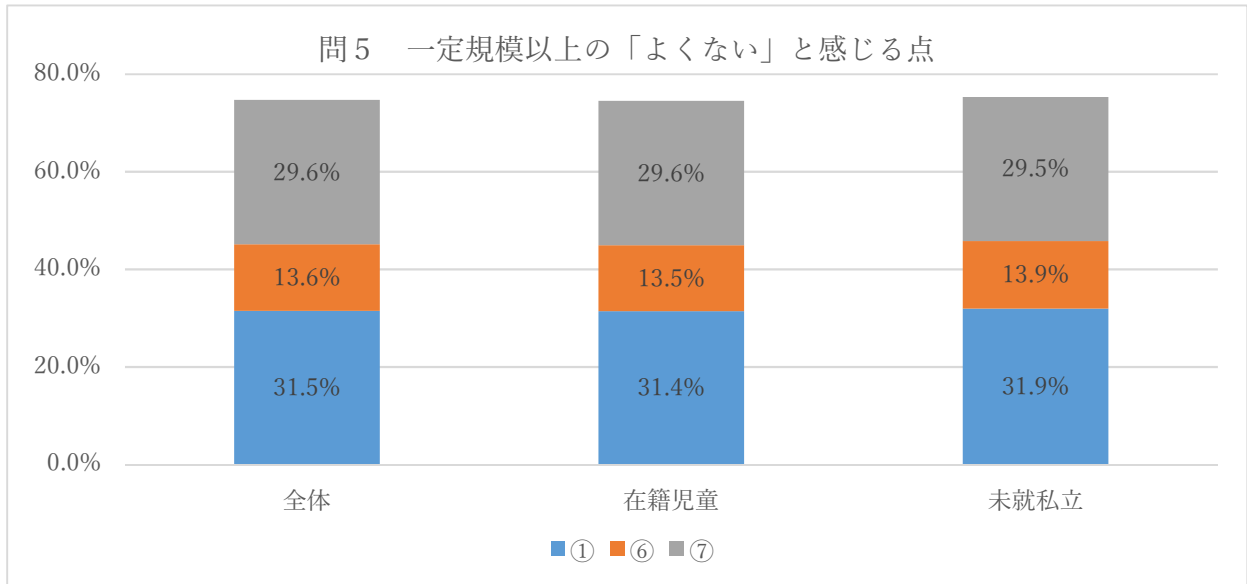
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 巨小 ③31.2% ⑥16.2% ①15.1% | 荒小 ③30.1% ①17.7% ⑥14.4% |
| 吉小 ③31.9% ⑥16.7% <u>①②16.2%</u> | 長小 ③32.0% ⑥16.7% <u>①②16.2%</u> |
| 逢小 ③29.0% ⑥15.8% <u>①14.5%</u> | 高小 ③29.1% ①20.8% ⑥14.6% |
| 巨中 ③29.7% ⑥17.0% ①16.6% | 荒中 ③28.5% ②19.0% ①16.1% |
| 吉中 ③26.9% ②15.7% ①15.3% | 逢中 ③26.1% ⑥16.8% ①16.2% |
| 巨未 ③30.9% ①16.3% ⑥14.5% | 荒未 ③31.7% ②13.1% ①12.4% |
| 吉未 ③27.6% ②19.4% ⑥17.3% | 長未 ③27.3% ⑥19.5% ②14.9% |
| 逢未 ③30.1% ⑥15.8% ①15.0% | 高未 ③30.0% ⑥20.0% ①14.3% |



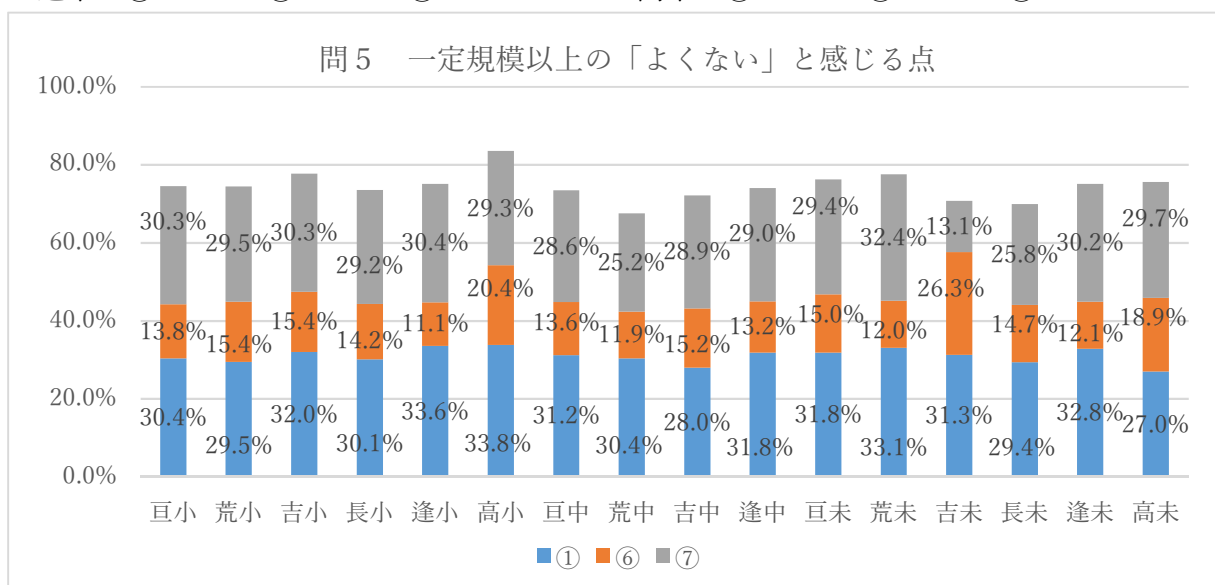
問5 一定規模以上（人数の多い）の学校の「よくない」と感じる点（3つ）（上位3位）

- 全 体 ①問題が生じた場合、教師が気づかない・・・31.5%
 ⑦児童・生徒への細かい指導が行き届きにくい・・・29.6%
 ⑥一人一人の活躍の場が少ない・・・13.6%
- 在籍児童 ①31.4% ⑦29.6% ⑥13.5%
- 未就私立 ①31.9% ⑥29.5% ⑦13.9%



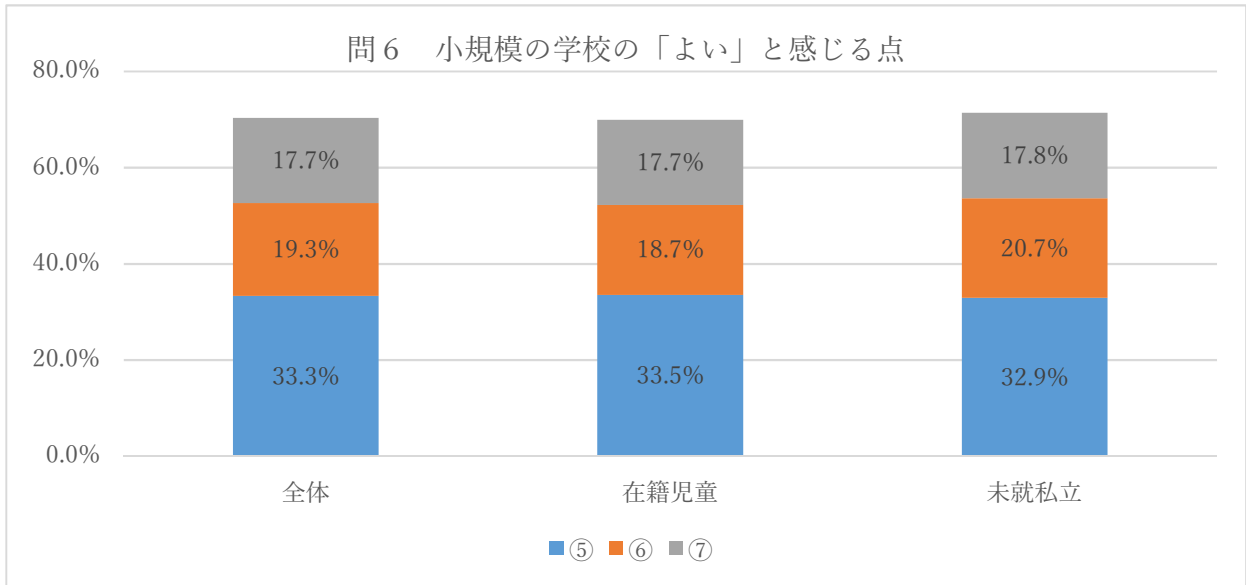
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

巨小	①30.4%	⑦30.3%	⑥13.8%	荒小	<u>①⑦29.5%</u>	⑥15.4%	
吉小	①32.0%	⑦30.3%	⑥15.4%	長小	①30.1%	⑦29.2%	⑥14.2%
逢小	①33.6%	⑦30.4%	⑥11.1%	高小	①33.8%	⑦29.3%	⑥20.4%
巨中	①31.2%	⑦28.6%	⑥13.6%	荒中	①30.4%	⑦25.2%	⑥11.9%
吉中	⑦28.9%	①28.0%	⑥15.2%	逢中	①31.8%	⑦29.0%	⑥13.2%
巨未	①31.8%	⑦29.4%	⑥15.0%	荒未	①33.1%	⑦32.4%	⑥12.0%
吉未	①31.3%	⑥26.3%	⑦13.1%	長未	①29.4%	⑦25.8%	⑥14.7%
逢未	①32.8%	⑦30.2%	⑥12.1%	高未	⑦29.7%	①27.0%	⑥18.9%



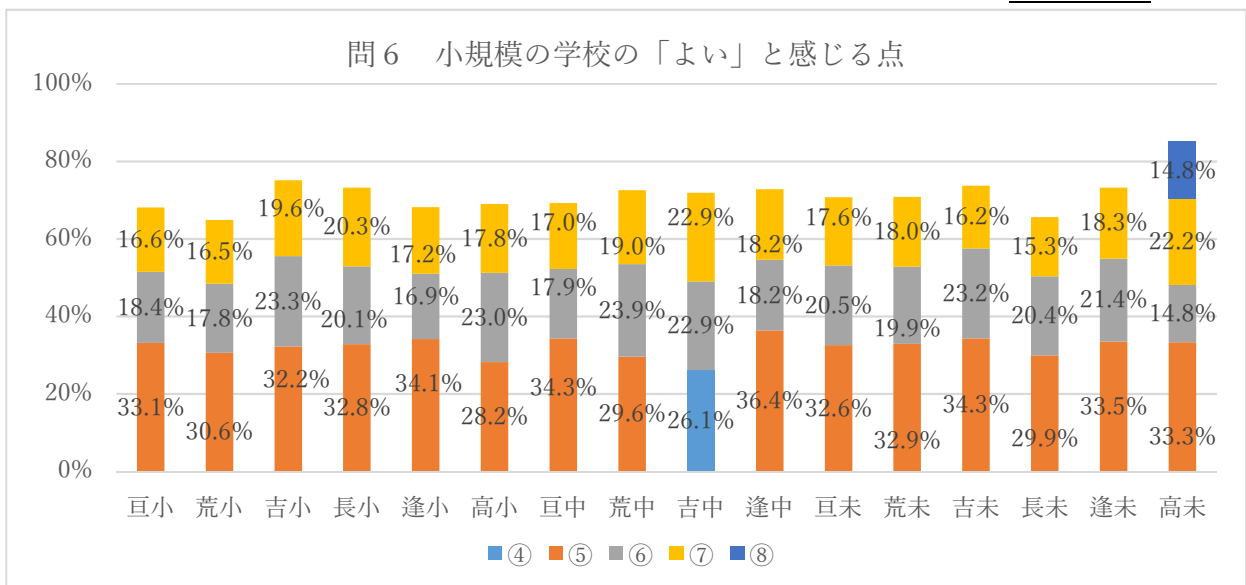
問6 小規模の学校の「よい」と感じる点(3つ) (上位3位)

全 体	⑤先生の目が届きやすく、きめ細かな指導(個別指導)がしやすい・・・33.3%
	⑥全員で団結や協力がしやすい・・・・・・・・・・・・・・・・・・19.3%
	⑦個々の活動の場が増え、責任感が育てやすい・・・・・・・・・・17.7%
在籍児童	⑤33.5% ⑥18.7% ⑦17.7%
未就私立	⑤32.9% ⑥20.7% ⑦17.8%



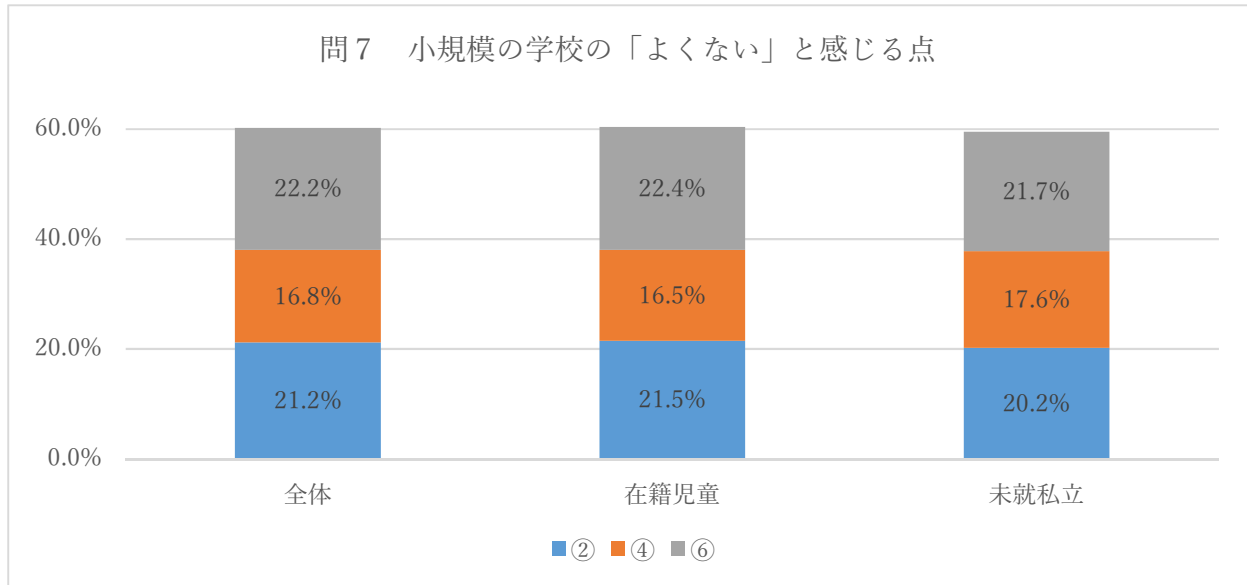
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

亘小	⑤33.1%	⑥18.4%	⑦16.6%	荒小	⑤30.6%	⑥17.8%	⑦16.5%
吉小	⑤32.2%	⑥23.3%	⑦19.6%	長小	⑤32.8%	⑦20.3%	⑥20.1%
逢小	⑤34.1%	⑦17.2%	⑥16.9%	高小	⑤28.2%	⑥23.0%	⑦17.8%
亘中	⑤34.3%	⑥17.9%	⑦17.0%	荒中	⑤29.6%	⑥23.9%	⑦19.0%
吉中	④26.1%	<u>⑥⑦22.9%</u>		逢中	⑤36.4%	<u>⑥⑦18.2%</u>	
亘未	⑤32.6%	⑥20.5%	⑦17.6%	荒未	⑤32.9%	⑥19.9%	⑦18.0%
吉未	⑤34.3%	⑥23.2%	⑦16.2%	長未	⑤29.9%	⑥20.4%	⑦15.3%
逢未	⑤33.5%	⑥21.4%	⑦18.3%	高未	⑤33.3%	⑦22.2%	<u>⑥⑧14.8%</u>



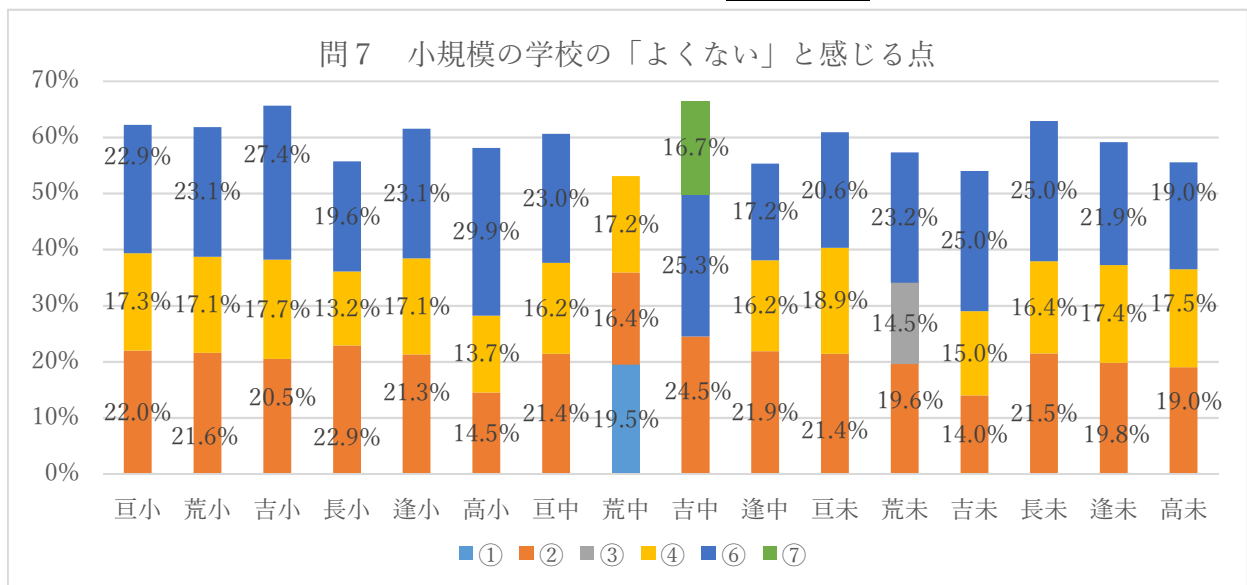
問7 小規模学校の「よくない」と感じる点(3つ) (上位3位)

- 全 体 ⑥P T A活動において、保護者への負担が多い・・・31.4%
 ②達関係がいつも同じで、友人間に序列ができる・・・29.6%
 ④多様な考えに触れる機会が少ない・・・・・・・・・・13.6%
- 在籍児童 ⑤33.5% ⑥18.7% ⑦17.7%
- 未就私立 ⑤32.9% ⑥20.7% ⑦17.8%



下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

亘小	⑥22.9%	②22.0%	④17.3%	荒小	⑥23.1%	②21.6%	④17.1%
吉小	⑥27.4%	②20.5%	④17.7%	長小	②22.9%	⑥19.6%	④13.2%
逢小	⑥23.1%	②21.3%	④17.1%	高小	⑥29.9%	②14.5%	④13.7%
亘中	⑥23.0%	②21.4%	④16.2%	荒中	①19.5%	④17.2%	②16.4%
吉中	⑥25.3%	②24.5%	⑦16.7%	逢中	②21.9%	⑥17.2%	④16.2%
亘未	②21.4%	⑥20.6%	⑦18.9%	荒未	⑥23.2%	②19.6%	③14.5%
吉未	⑥25.0%	④15.0%	②14.0%	長未	⑥25.0%	②21.5%	④16.4%
逢未	⑥21.9%	②19.8%	④17.4%	高未	<u>②⑥19.0%</u>	④17.5%	



問8 小中学校において、学級数や学級の人数が減ることの影響について(3つ) (上位3位)

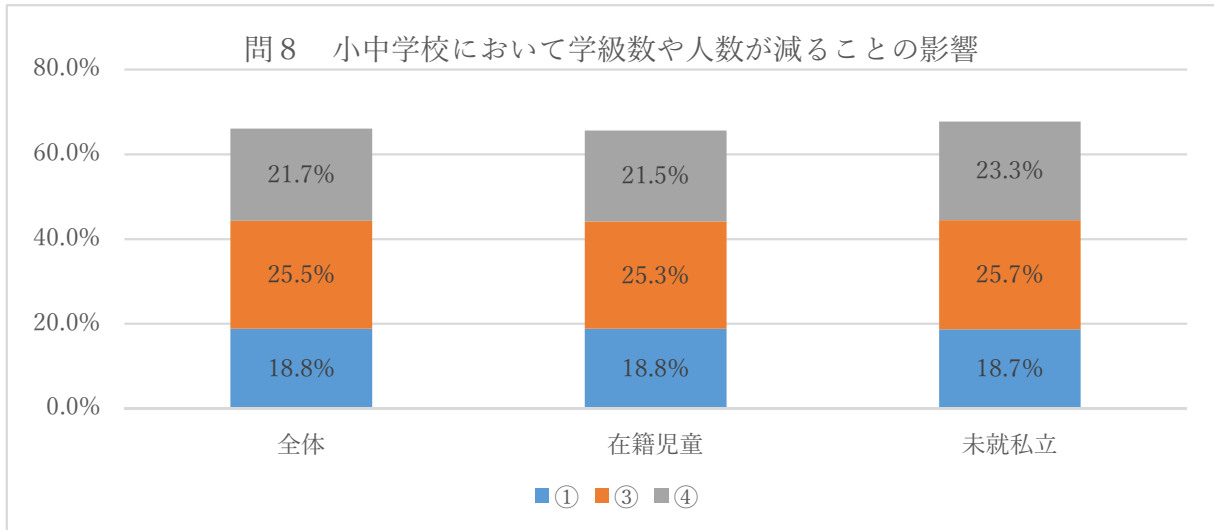
全 体 ③子どもの人数が減ることで、かえって一人一人の個性や特性に応じたきめ細やかで丁寧な指導が期待できる・・・・・・・・・・25.5%

④人間関係が固定化・序列化する恐れや、学級の中で人間関係が破綻した場合、学級編制による回避ができないことが不安である・・・・・・・・21.7%

①一人一人が担う部分が多くなるため、工夫・協力し合うことを学び、やりがいや責任感が生まれることが期待できる・・・・・・・・・・18.8%

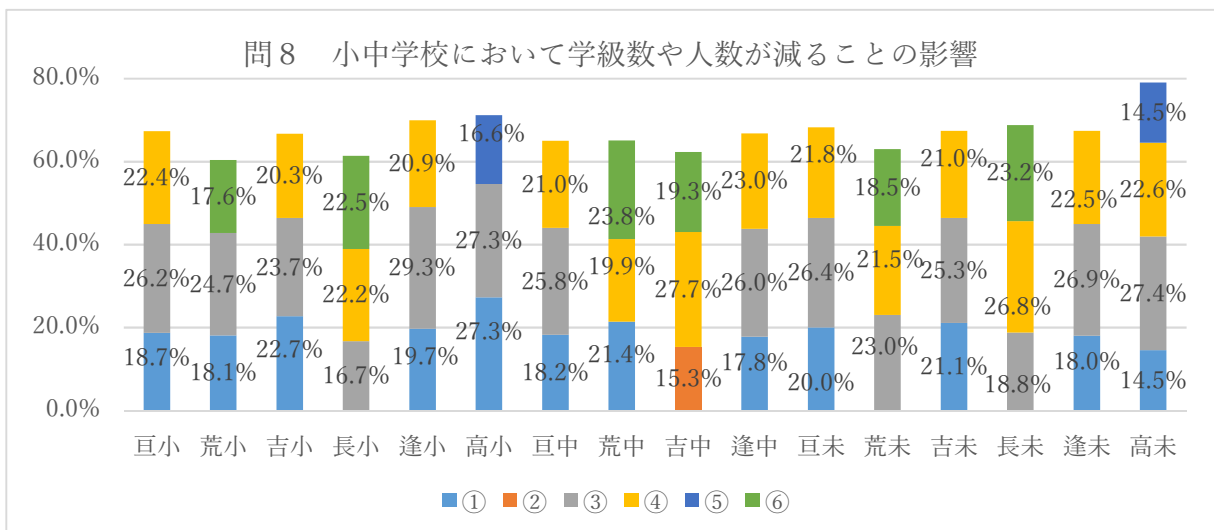
在籍児童 ③25.3% ④21.5% ①18.8%

未就私立 ③25.7% ④23.3% ①18.7%



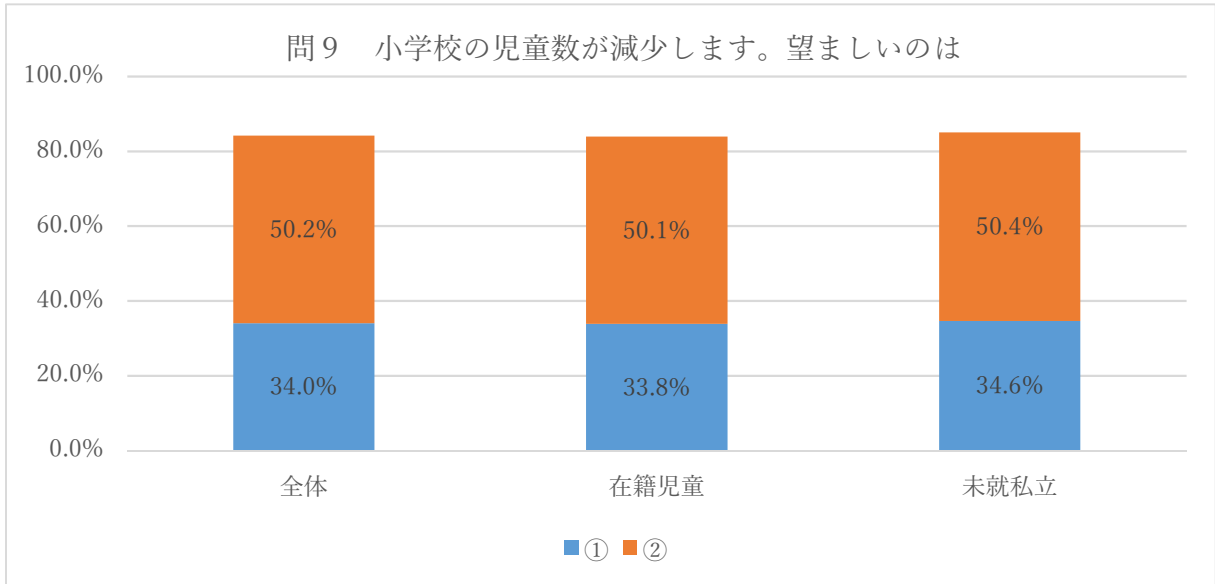
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

亘小	③26.2%	④22.4%	①18.7%	荒小	③24.7%	①18.1%	⑥17.6%
吉小	③23.7%	①22.7%	④20.3%	長小	⑤22.5%	④22.2%	③16.7%
逢小	③29.3%	④20.9%	④20.9%	高小	①③27.3%	⑤16.6%	
亘中	③25.8%	④21.0%	①18.2%	荒中	⑥23.8%	①21.4%	④19.9%
吉中	④27.7%	⑥19.3%	②15.3%	逢中	③26.0%	④21.8%	①17.8%
亘未	③26.4%	④21.8%	①20.0%	荒未	③23.0%	④21.5%	⑥18.5%
吉未	③25.3%	①21.1%	④21.0%	長未	④26.8%	⑥23.2%	③18.8%
逢未	③26.9%	④22.5%	①18.0%	高未	③27.4%	④22.6%	①⑤14.5%



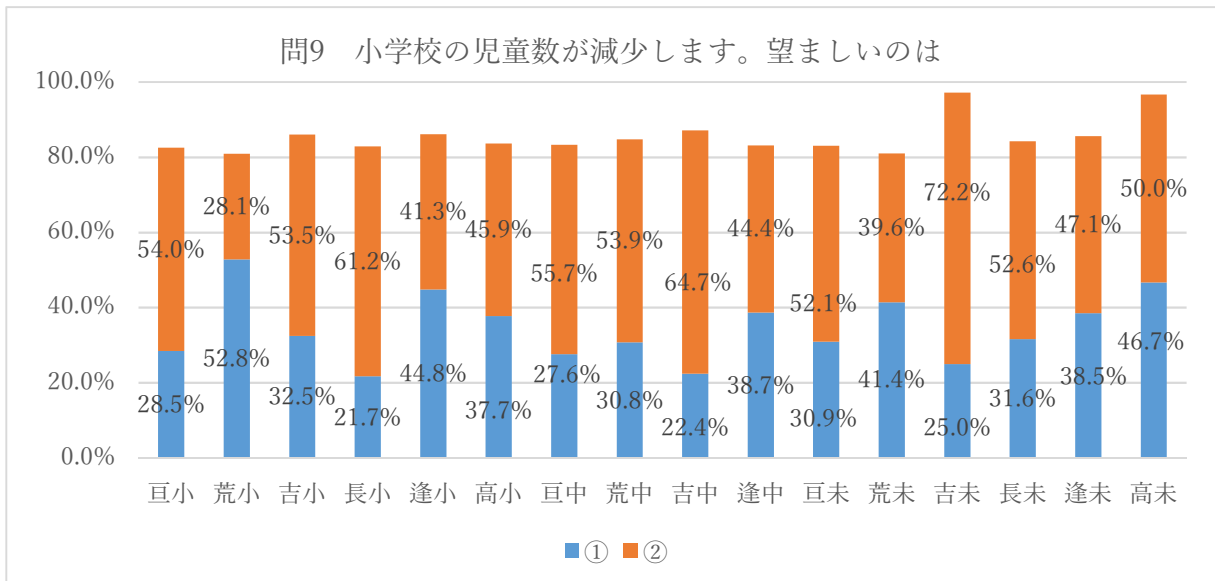
問9 小学校の児童数が今後さらに減少します。これに対して、どのようにすることが望ましいと考えますか。

- 全体 ②学校を再編・統合し、適正な児童数を確保する・・・・・・・・・・50.2%
 ①適正な児童数を確保できない場合でも、現在の学校数のままでよい・34.0%
 在籍児童 ②50.1% ①33.8%
 未就私立 ②50.4% ①34.6%



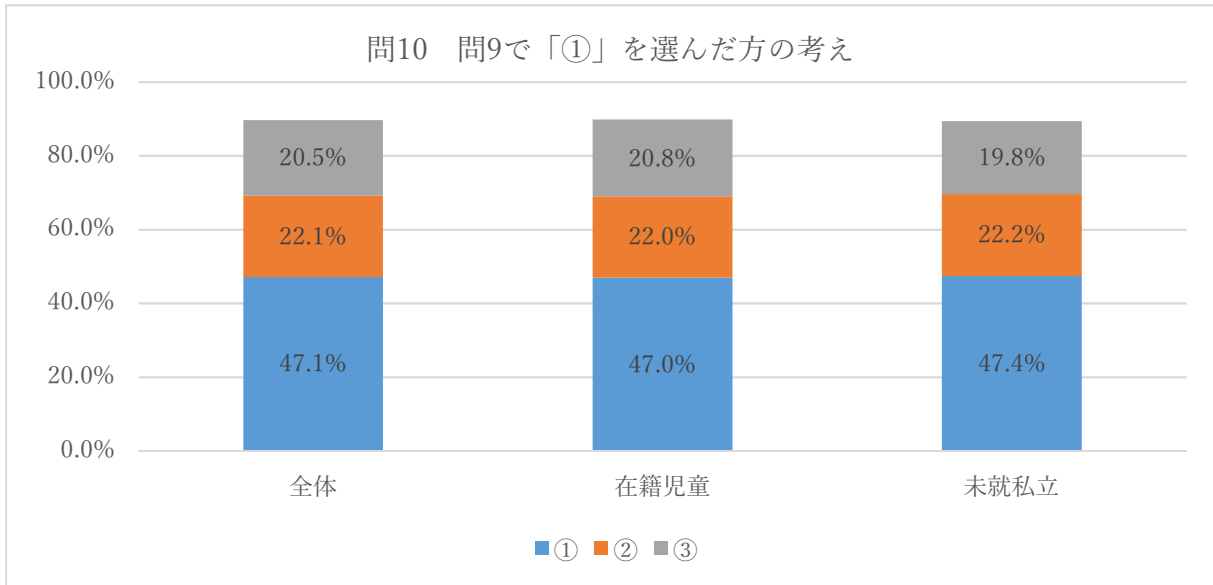
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

- | | | | | | |
|----|--------|--------|----|--------|--------|
| 亘小 | ②54.0% | ①28.5% | 荒小 | ①52.8% | ②28.1% |
| 吉小 | ②53.5% | ①32.5% | 長小 | ②61.2% | ①21.7% |
| 逢小 | ①44.8% | ②41.3% | 高小 | ②45.9% | ①37.7% |
| 亘中 | ②55.7% | ①27.6% | 荒中 | ②53.9% | ①30.8% |
| 吉中 | ②64.7% | ①22.4% | 逢中 | ②44.4% | ①38.7% |
| 亘未 | ②52.1% | ①30.9% | 荒未 | ①41.4% | ②39.6% |
| 吉未 | ②72.2% | ①25.0% | 長未 | ②52.6% | ①31.6% |
| 逢未 | ②47.1% | ①38.5% | 高未 | ②50.0% | ①46.7% |



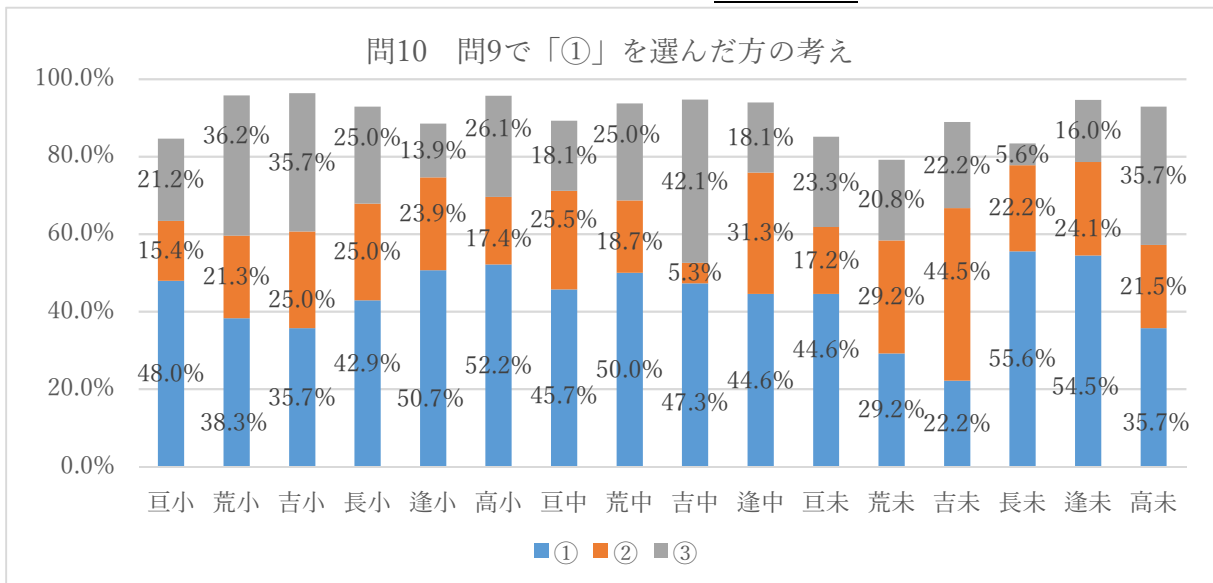
問10 問9で①を選んだ方の理由。

- 全 体 ①児童数や学級数が減少しても不都合はない・・・47.1%
 ②複式学級になっても児童が相互に学び合う活動ができる・・・22.1%
 ③地域の協力が得やすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい・・・20.5%
- 在籍児童 ①47.0% ②22.0% ③20.8%
- 未就私立 ①47.4% ②22.2% ③19.8%



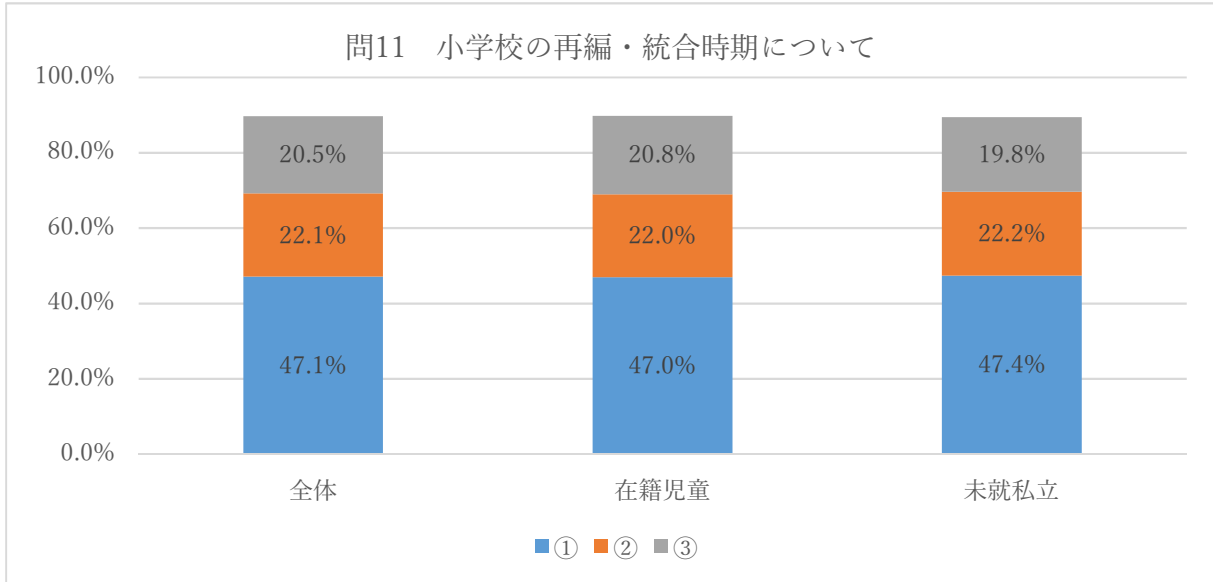
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 亘小 ①48.0% ③21.2% ②15.4% | 荒小 ①38.3% ③36.2% ②21.3% |
| 吉小 ① <u>35.7%</u> ②25.0% | 長小 ①42.9% ② <u>25.0%</u> |
| 逢小 ①50.7% ②23.9% ③13.9% | 高小 ①52.2% ③26.1% ②17.4% |
| 亘中 ①45.7% ②25.5% ③18.1% | 荒中 ①50.0% ③25.0% ②18.7% |
| 吉中 ①47.3% ③42.1% ②5.3% | 逢中 ①44.6% ②31.3% ③18.1% |
| 亘未 ①44.6% ③23.3% ②17.2% | 荒未 ① <u>29.2%</u> ③20.8% |
| 吉未 ②44.5% ① <u>22.2%</u> | 長未 ①55.6% ②22.2% ③5.6% |
| 逢未 ①54.5% ②24.1% ③16.0% | 高未 ① <u>35.7%</u> ②21.6% |



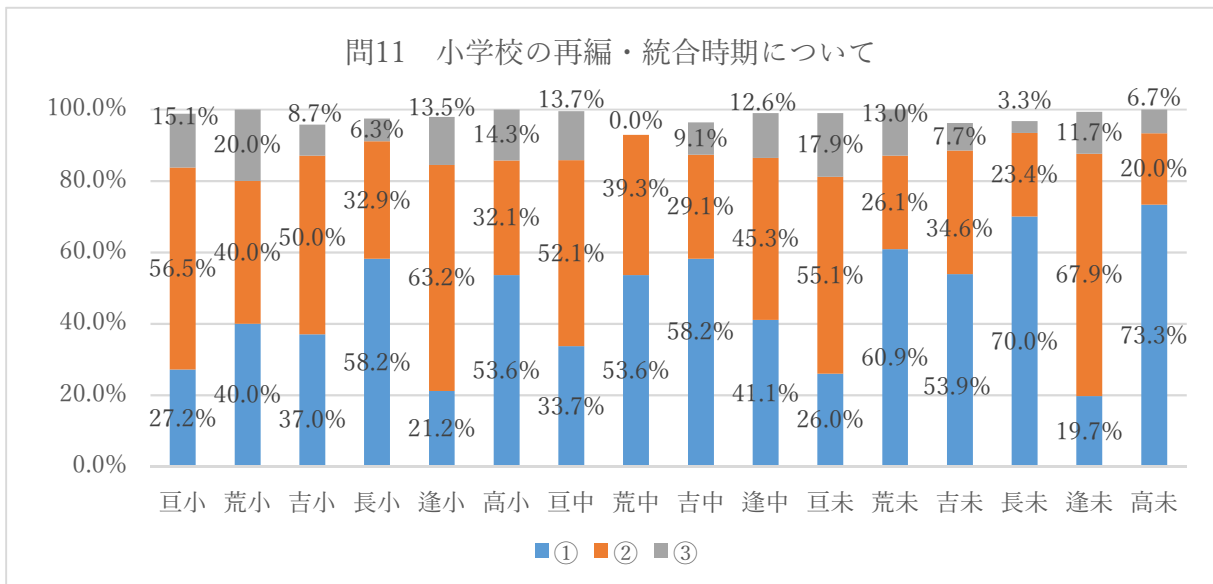
問11 小学校の再編・統合時期について。

全 体	①短期的に（2～4年後）	47.1%	
	②中期的に（5～9年後）	22.1%	
	③長期的に（10年後降）	20.5%	
在籍児童	①47.0%	②22.0%	③20.8%
未就私立	①47.4%	②22.2%	③19.8%



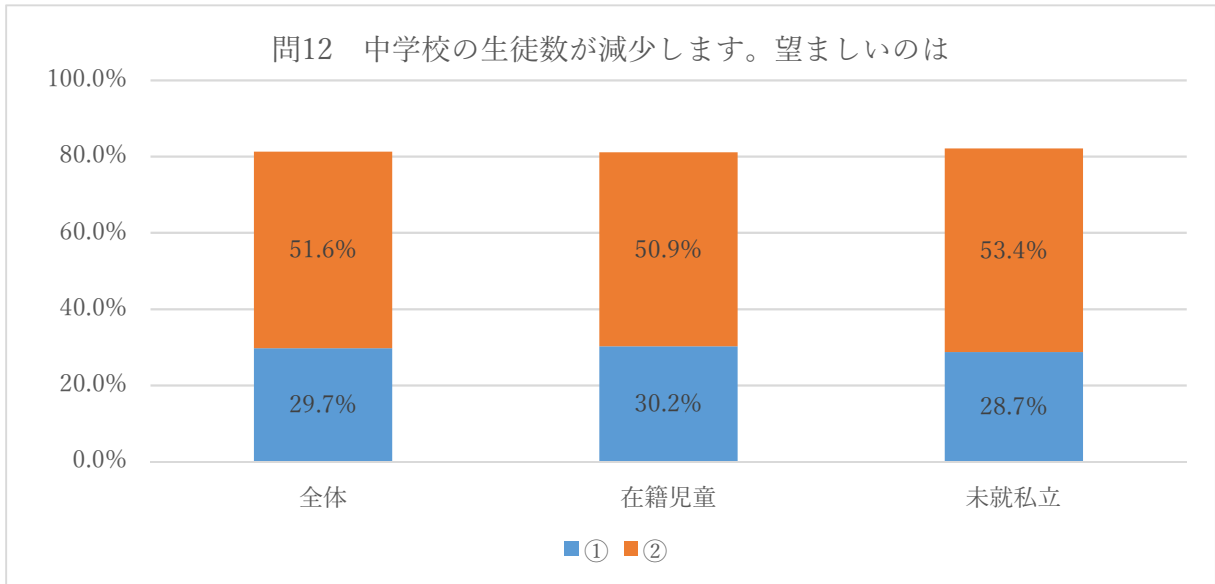
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

巨小	②56.5%	①15.1%	③15.1%	荒小	<u>①②40.0%</u>	③20.0%	
吉小	②50.0%	①37.0%	③8.7%	長小	①58.2%	②32.9%	③6.3%
逢小	②63.2%	①21.2%	③13.5%	高小	①53.6%	②32.1%	③14.3%
巨中	②52.1%	①33.4%	③13.7%	荒中	①53.6%	②39.3%	③0.0%
吉中	①58.2%	②29.1%	③9.1%	逢中	②45.3%	①41.1%	③12.6%
巨未	②55.1%	①26.0%	③17.9%	荒未	①60.9%	②26.1%	③13.0%
吉未	①53.9%	②34.6%	③7.7%	長未	①70.0%	②23.4%	③3.3%
逢未	②67.9%	①19.7%	③11.7%	高未	①73.3%	②20.0%	③6.7%



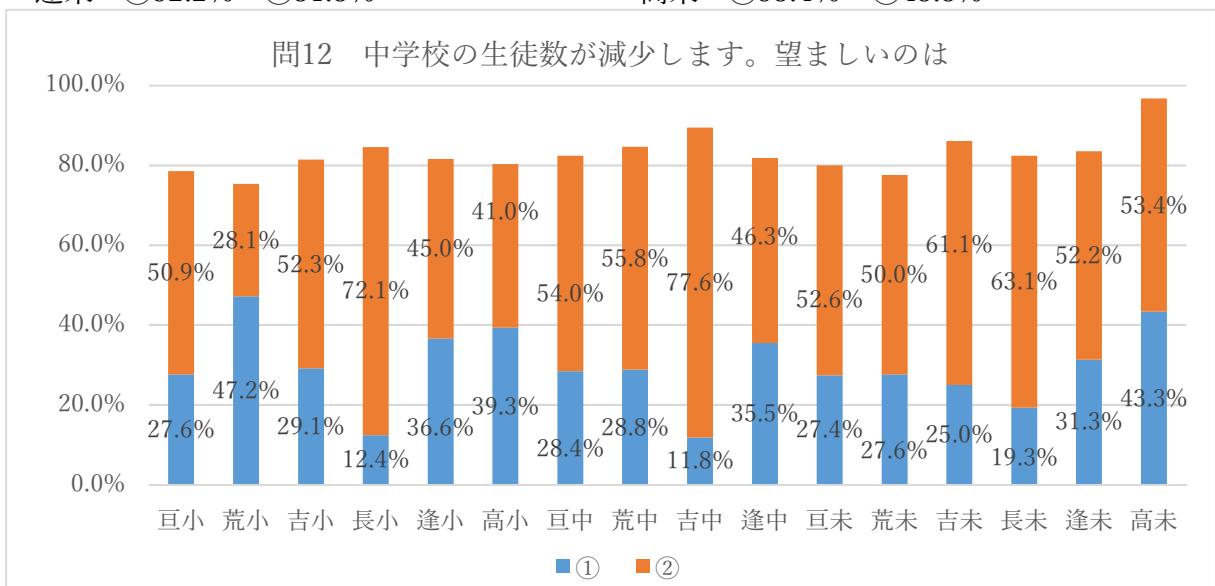
問12 中学校の生徒数が今後さらに減少します。これに対して、どのようにすることが望ましいと考えますか。

- 全体 ②学校を再編・統合し、適正な児童数を確保する・・・・・・・・・・51.6%
 ①適正な生徒数を確保できない場合でも、現在の学校数のままでよい・29.7%
 在籍児童 ②50.9% ①30.2%
 未就私立 ②53.4% ①28.7%



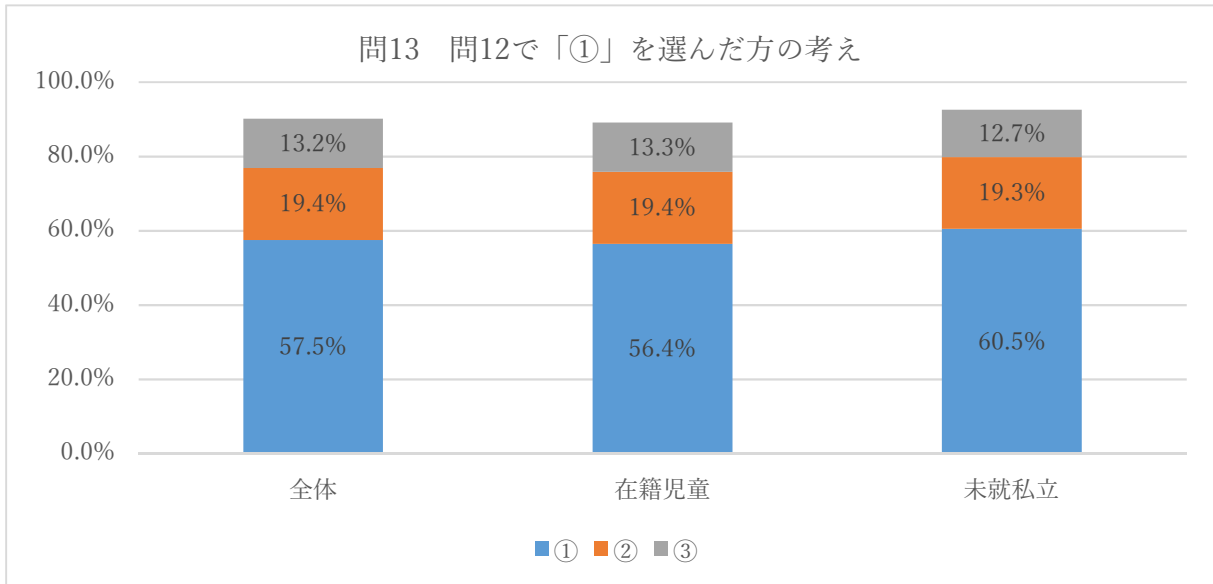
下記のグラフは、学校別の集計です。

- | | |
|------------------|------------------|
| 巨小 ②50.9% ①27.6% | 荒小 ①47.2% ②28.1% |
| 吉小 ②52.3% ①29.1% | 長小 ②72.1% ①12.4% |
| 逢小 ②45.0% ①36.6% | 高小 ②41.0% ①39.3% |
| 巨中 ②54.0% ①28.4% | 荒中 ②55.8% ①28.8% |
| 吉中 ②77.6% ①11.8% | 逢中 ②46.3% ①35.5% |
| 巨未 ②52.6% ①27.4% | 荒未 ②50.0% ①27.6% |
| 吉未 ②61.1% ①25.0% | 長未 ②63.1% ①19.3% |
| 逢未 ②52.2% ①31.3% | 高未 ②53.4% ①43.3% |



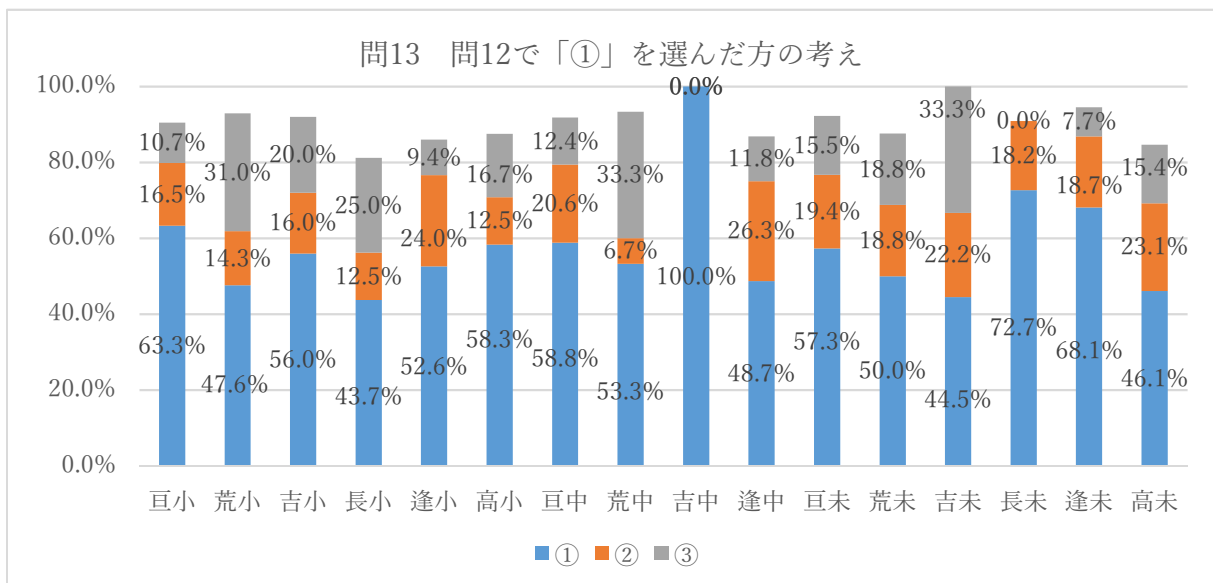
問13 問12で①を選んだ方の理由。

- 全 体 ①生徒数や学級数が減少しても不都合はない・・・57.5%
 ②複式学級になっても児童が相互に学び合う活動ができる・・・19.4%
 ③地域の協力が得やすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい・・・13.2%
- 在籍児童 ①56.4% ②19.4% ③13.3%
- 未就私立 ①60.5% ②19.3% ③12.7%



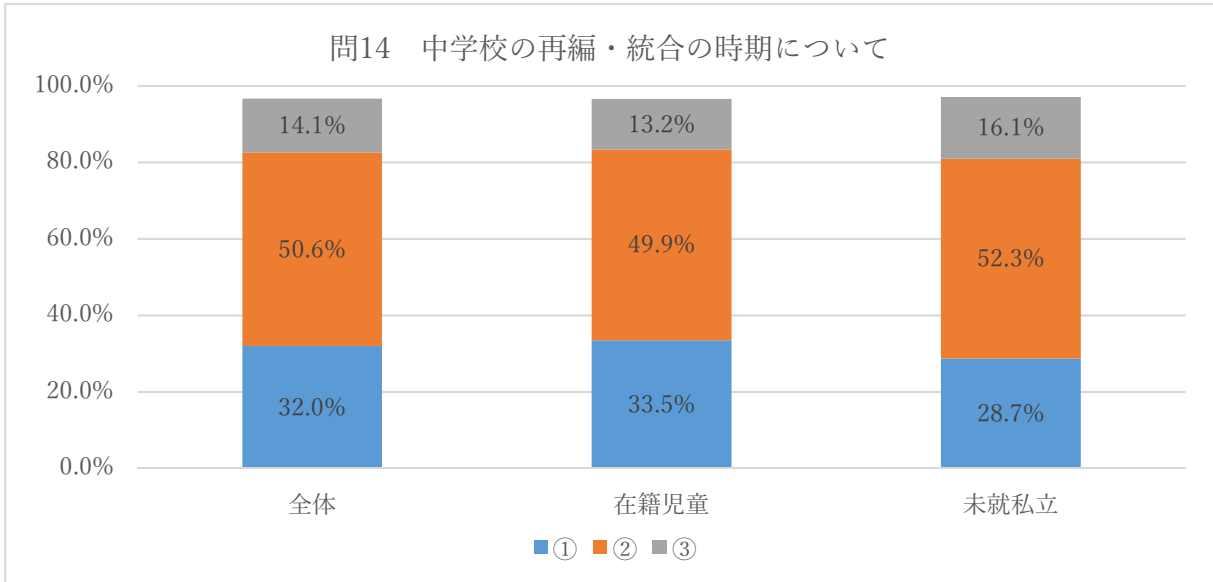
下記のグラフは、学校の集計です。※下線は同率

亘小	①63.3%	②16.5%	③10.7%	荒小	①47.6%	③31.0%	②14.3%
吉小	①56.0%	③20.0%	②16.0%	長小	①43.7%	③25.0%	②12.5%
逢小	①52.6%	②24.6%	③9.4%	高小	①58.3%	③16.7%	②12.5%
亘中	①58.8%	②20.6%	③12.4%	荒中	①53.3%	③33.3%	②6.7%
吉中	①100%	<u>②30.0%</u>		逢中	①48.7%	②26.3%	③11.8%
亘未	①57.3%	②19.4%	③15.5%	荒未	①50.0%	<u>②③18.8%</u>	
吉未	①44.5%	③33.3%	②22.2%	長未	①72.7%	<u>②18.2%</u>	③0.0%
逢未	①68.1%	②18.7%	③7.7%	高未	①46.1%	②23.1%	③15.4%



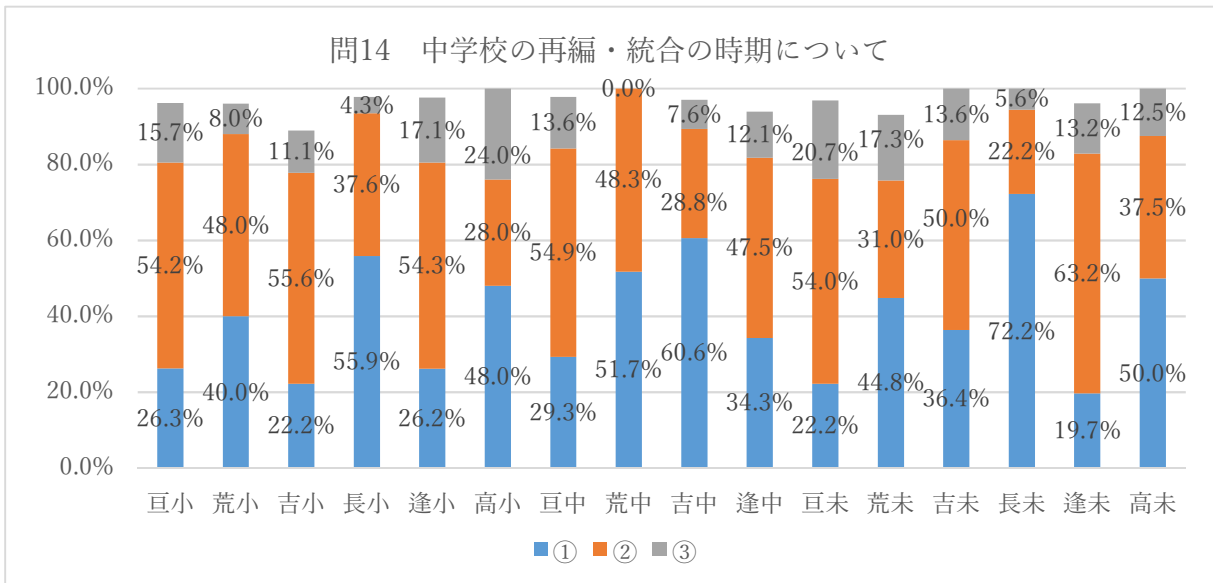
問14 中学校の再編・統合時期について。

全 体	②中期的に（5～9年後）	50.6%
	①短期的に（2～4年後）	32.0%
	③長期的に（10年後降）	14.1%
在籍児童	②	49.9%
	①	33.5%
	③	13.2%
未就私立	②	52.3%
	①	28.7%
	③	16.1%



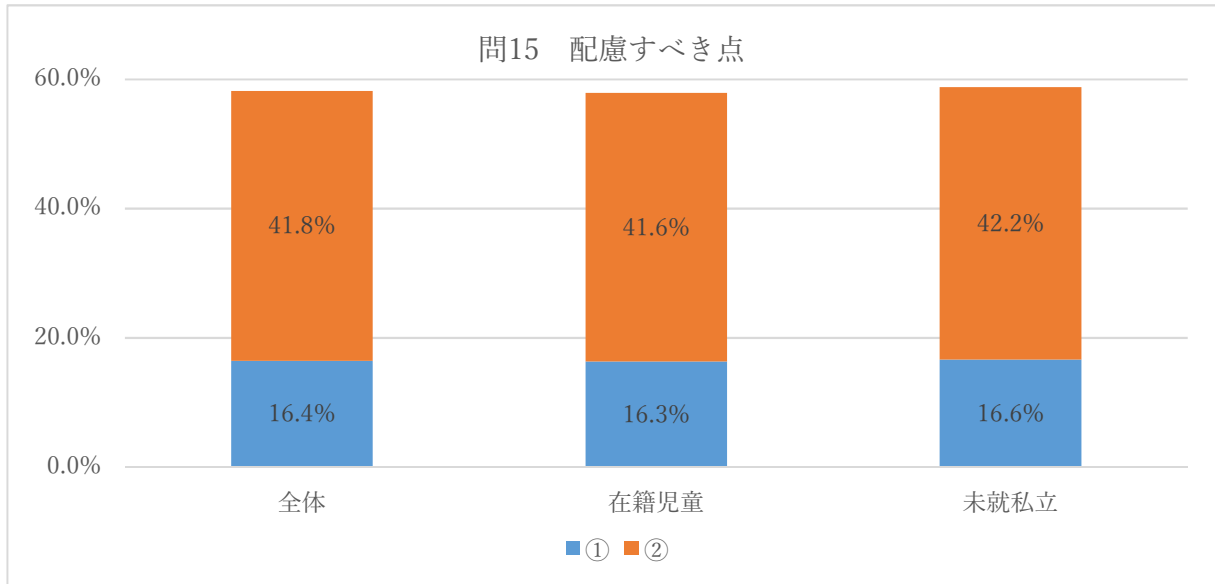
下記のグラフは、学校別の集計です。※下線は同率

亘小	②54.2%	①26.3%	③15.7%	荒小	②48.0%	①40.0%	③8.0%
吉小	②55.6%	①22.2%	③11.1%	長小	①55.9%	②37.6%	③4.3%
逢小	②54.3%	①26.2%	③17.1%	高小	①48.0%	②28.0%	③24.0%
亘中	②54.9%	①29.3%	③13.6%	荒中	①51.7%	②48.3%	③0.0%
吉中	①60.6%	②28.8%	③7.6%	逢中	②47.5%	①34.3%	③12.1%
亘未	②54.0%	①22.2%	③20.7%	荒未	①44.8%	②31.0%	③17.3%
吉未	②50.0%	①36.4%	③13.6%	長未	①72.2%	②22.2%	③5.6%
逢未	②63.2%	①19.7%	③13.2%	高未	①50.0%	②37.5%	③12.5%



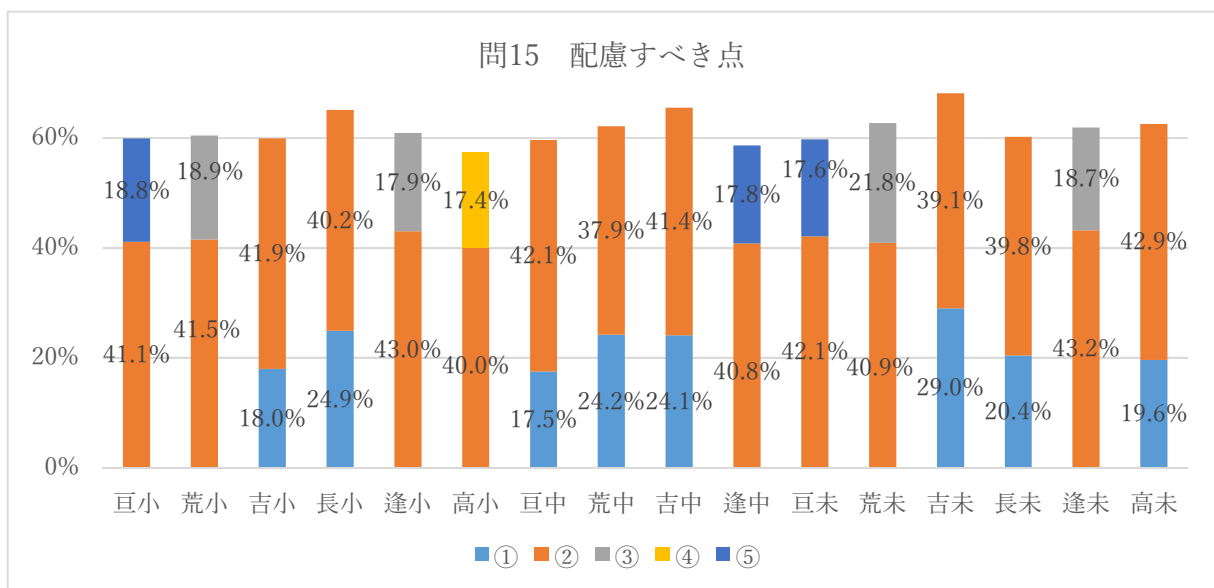
問15 学校の適正規模・適正配置を検討するうえで、配慮すべきと思われる点（2つ）

- 全 体 ②児童生徒の通学（距離・方法・時間）とその安全・・・50.6%
 ①適正な児童生徒数、学級数の確保・・・・・・・・・・32.0%
 在籍児童 ②41.6% ①16.3%
 未就私立 ②42.2% ①16.6%



下記のグラフは、学校別の集計です。

- | | |
|------------------|------------------|
| 亘小 ②41.1% ⑤18.8% | 荒小 ②41.5% ③18.9% |
| 吉小 ②41.9% ①18.0% | 長小 ②40.2% ①24.9% |
| 逢小 ②43.0% ③17.9% | 高小 ②40.0% ④17.4% |
| 亘中 ②42.1% ①17.5% | 荒中 ②37.9% ①24.2% |
| 吉中 ②41.4% ①24.1% | 逢中 ②40.8% ⑤17.8% |
| 亘未 ②42.1% ⑤17.6% | 荒未 ②40.9% ③21.8% |
| 吉未 ②39.1% ①29.0% | 長未 ②39.8% ①20.4% |
| 逢未 ②43.2% ③18.7% | 高未 ②42.9% ①19.6% |



教育環境の整備に関するアンケート調査 ご協力をお願い

令和3年1月

亶理町教育委員会
教育長 奥野光正

保護者の皆様には、日頃から本町教育行政に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本町では少子高齢化及び人口減少問題による児童・生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進行する中で、学校生活、学校運営等に関する諸問題を調査することを目的として、「亶理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会」において望ましい教育環境の在り方等について検討を進めることとしております。

このアンケートは、望ましい学校規模の検討の基礎資料とするため、皆様にご協力をお願いするもので、①町立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の方々、②①以外で亶理町に住民票を有する児童生徒の保護者の方々、並びに③未就学児の保護者の方々を対象に実施するものです。

記入に際しましては、教育環境の整備に関するアンケート調査資料をご確認いただき回答をお願いします。このアンケートは無記名であり、回答は全て統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。本アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

< 記入上の注意 >

- 1 このアンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。氏名をご記入していただく必要はありません。
- 2 回答は、別紙マークシートに該当する番号を鉛筆で塗りつぶして下さい。
- 3 設問中、小学校又は中学校に関する部分については、現に在籍している児童生徒がいない場合でも今後在籍すると想定してお答えください。
- 4 記入いただいたアンケートは、令和3年1月20日(水)までに、封筒に入れて学校に提出をお願いします。ただし、このアンケートが郵送で届いた場合は、同封の返信用封筒で上記期日までに投函願います。
- 5 このアンケートについてのお問い合わせは、下記までをお願いします。

お問い合わせ先 亶理町教育委員会 教育総務課 (0223-34-0509)

空白ページ

教育環境の整備に関するアンケート調査資料

亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会

○アンケート調査に入る前に、次のⅠ・Ⅱについて、必ずお読みいただきますようお願いいたします。

Ⅰ アンケート調査に当たって

1 調査の目的

人口減少社会を見据え、将来を担う亘理町の子どもたちの「望ましい学校規模」を検討するために本調査を行うものです。

2 調査対象

令和2年度において、①町立小・中学校に在籍する児童生徒の保護者の方々、②①以外で亘理町に住民票を有する児童生徒の保護者の方々、並びに③未就学児の保護者の方々を対象に実施するものです。

3 調査用紙の配付及び回収

お子さんが通学している学校から配付されます。記入いただいたアンケートは下記期限まで学校に提出をお願いします。複数のお子さんがある場合は、複数の回答をお願いいたします。

ただし、このアンケートが郵送で届いた場合には、同封の返信用封筒で下記の期限までに投函願います。提出期限は令和3年1月20日（水）になります。

4 本調査の活用

亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会において、アンケート結果を分析・検討し、望ましい学校規模を考える資料とします。

なお、このアンケートは調査結果の分析・検討結果がそのまま計画になるわけではありません。

5 調査結果及び調査結果の分析・検討の公表と報告書の作成

本調査の結果と亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会の分析・検討結果は、地区（小学校区あるいは中学校区）ごとに懇談会を開催し公表する予定です。その際、調査対象者以外の皆様にもご参加いただき、幅広くご意見をいただく予定です。

分析・検討結果と懇談会の内容を「報告書」としてまとめ、町当局（亘理町教育委員会）へ提出します。

Ⅱ アンケート調査の前に

1 今後（2020年以降）の亘理町の「総人口推計値」と「0歳から15歳の人口推計値」並びに、「亘理町立学校の児童生徒数（全学年合計及び令和4年以降の学年別）推移」の表から、児童生徒数の減少＝各学校の学級数の減少を確認します。

(1) 亘理町の総人口・及び0歳から15歳の人口の推計値

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口推計値	32,894人	31,046人	29,004人	26,834人	24,502人	22,154人
0歳から15歳の人口推計値	3,824人	3,416人	3,036人	2,647人	2,304人	1,997人

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年度推計）」より

(2) 亘理町立学校の学校別児童生徒数の推移（全学年合計）

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
亘理小学校	667人	655人	630人	633人	618人	613人	592人
荒浜小学校	94人	94人	86人	96人	85人	81人	72人
吉田小学校	90人	90人	87人	79人	70人	62人	62人
長瀬小学校	139人	120人	111人	103人	93人	89人	83人
逢隈小学校	585人	587人	590人	569人	550人	534人	513人
高屋小学校	65人	62人	56人	50人	52人	43人	40人
亘理中学校	432人	452人	433人	422人	398人	384人	383人
荒浜中学校	60人	58人	61人	48人	50人	44人	49人
吉田中学校	89人	93人	98人	84人	70人	63人	55人
逢隈中学校	278人	277人	296人	300人	316人	298人	299人

亘理町住民基本台帳より

(3) 令和4年から令和8年における亘理町立学校の学校別・学年別児童生徒数の推移

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年		
亘理小1年生	98人	99人	95人	96人	82人	逢隈小1年生	110人	81人	83人	71人	84人		
	2年生	122人	98人	99人	95人		96人	2年生	84人	110人	81人	83人	71人
	3年生	103人	122人	98人	99人		95人	3年生	105人	84人	110人	81人	83人
	4年生	101人	103人	122人	98人		99人	4年生	87人	105人	84人	110人	81人
	5年生	110人	101人	103人	122人		98人	5年生	102人	87人	105人	84人	110人
	6年生	96人	110人	101人	103人		122人	6年生	102人	102人	87人	105人	84人
荒浜小1年生	10人	19人	10人	9人	5人	高屋小1年生	3人	6人	9人	5人	7人		
	2年生	19人	10人	19人	10人		9人	2年生	10人	3人	6人	9人	5人
	3年生	14人	19人	10人	19人		10人	3年生	10人	10人	3人	6人	9人
	4年生	13人	14人	19人	10人		19人	4年生	14人	10人	10人	3人	6人
	5年生	21人	13人	14人	19人		10人	5年生	7人	14人	10人	10人	3人
	6年生	9人	21人	13人	14人		19人	6年生	12人	7人	14人	10人	10人
吉田小1年生	11人	9人	8人	10人	9人	亘理中1年生	143人	121人	134人	129人	120人		
	2年生	15人	11人	9人	8人		10人	2年生	158人	143人	121人	134人	129人
	3年生	9人	15人	11人	9人		8人	3年生	132人	158人	143人	121人	134人
	4年生	18人	9人	15人	11人	9人	荒浜中1年生	19人	10人	21人	13人	15人	
	5年生	17人	18人	9人	15人	11人		2年生	19人	19人	10人	21人	13人
	6年生	17人	17人	18人	9人	15人		3年生	23人	19人	19人	10人	21人
長瀬小1年生	18人	13人	12人	16人	7人	吉田中1年生	27人	21人	22人	20人	13人		
	2年生	17人	18人	13人	12人		16人	2年生	36人	27人	21人	22人	20人
	3年生	13人	17人	18人	13人		12人	3年生	35人	36人	27人	21人	22人
	4年生	20人	13人	17人	18人	13人	逢隈中1年生	109人	105人	102人	91人	106人	
	5年生	22人	20人	13人	17人	18人		2年生	86人	109人	105人	102人	91人
	6年生	21人	22人	20人	13人	17人		3年生	101人	86人	109人	105人	102人

亘理町住民基本台帳より

※小1・小2・中1は35人で1学級、それ以外の学年は40人で1学級

(4) 中学校の学校規模 ※令和2年5月1日現在

	大河原管内	仙台管内	北部管内	東部管内	気仙沼管内	合計
3学年単学級の中学校数	6	4	1	12	5	27

※仙台管内の中中学校(38校)で、3学年とも単学級の中学校は「浦戸中学校」「荒浜中学校」「吉田中学校」「坂元中学校」で、浦戸中学校はへき地校で坂元中学校は次年度山下中学校と一緒にになる。

2 児童生徒にとって望ましい学校規模を考えます。

(1) 望ましい学校規模

小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが望まれ、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級の枠を超えて集団を編成したりするためには1学年2学級以上あると一層望ましい。

中学校では、全学級でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたりするためには少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が望まれ、しかも免許外指導（教える教科の免許がなくても授業を受け持つ）をなくすためには少なくとも9学級以上を確保することが望ましい。

※本町の場合、望ましい学校規模にするためには、大規模な通学区域の見直しが必要となります。

(2) 学級数が少ないことで課題と考えられる点

- クラス替えができないため児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- 学級内で男女比の偏りが生じやすく、体育の学習や音楽の学習で制約が生じる。
- 生徒指導上課題の見られる子どもの問題行動にクラス全体が大きな影響を受けやすい。
- 互いに切磋琢磨する機会が少ない。
- 運動会や文化祭などの集团的行事のスケールが小さくなりやすい。
- 修学旅行や社会見学の交通費、卒業アルバム等の単価が高くなる。
- 特に中学校では、「部活動」の種類が限定される。
- 特に中学校では、教科の専門教員が配置されず免許を所持しない教員が教科指導をすることがある。
- 特に中学校では、高校進学の際に大きな集団への適応に困難をきたす可能性がある。

(3) 学級数が少なくても良いと考えられる点

- 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細やかな指導が行いやすい。
- 意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- 異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる。
- 地域の協力が得やすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。

平成27年文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」
～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～より

【参考】

現在の巨理町立小中学校の通学区域は以下の図のようになります。

小学校の通学区域



中学校の通学区域



○次のページから調査になります。

教育環境の整備に関するアンケート調査

【通学区域について】

問1	現在お住まいの住所はどこの小学校区ですか。 ※小規模特認校制度を利用してお子さんが高屋小学校に通学している場合は「高屋小学校」となります。
----	--

- ①：亘理小学校 ②：荒浜小学校 ③：吉田小学校
④：長瀬小学校 ⑤：逢隈小学校 ⑥：高屋小学校

【学校の規模について】

問2	小学校における一つの学年での学級数は、どの程度が望ましいと考えますか。当てはまる番号を1つ選んでください。
----	---

- ①：1学級 ②：2～3学級程度 ③：4～5学級程度
④：その地（ ）

問3	中学校における一つの学年での学級数は、どの程度が望ましいと考えますか。当てはまる番号を1つ選んでください。
----	---

- ①：1学級 ②：2～3学級程度 ③：4～5学級程度
④：その地（ ）

問4	一定規模以上（人数の多い）の学校の「よい」と感じる点はどれですか。当てはまる番号を選んでください。（3つまで）
----	---

- ①：切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である
- ②：競争意識が生まれやすい環境である
- ③：人間関係の幅が広がる
- ④：多様な学習形態で授業を展開できる
- ⑤：多くの行事により、子どもを育てることができる
- ⑥：大勢で様々な活動ができる
- ⑦：個々の活動の場が増え、責任感が育てやすい
- ⑧：学校全体にエネルギーがある
- ⑨：特にない
- ⑩：分からない
- ⑪：その他具体的にあればご記入ください

問5	一定規模以上（人数の多い）の学校の「よくない」と感じる点はどれですか。当てはまる番号を選んでください。（3つまで）
----	---

- ①：問題が生じた場合、教師が気づかない
- ②：競争意識が薄くなりやすい
- ③：人間関係が希薄になりやすい
- ④：校庭や体育館での活動に制限が生じる
- ⑤：友達関係がいつも同じで、友人間に序列ができる
- ⑥：一人一人の活躍の場が少ない
- ⑦：児童・生徒への細かい指導が行き届きにくい
- ⑧：コミュニケーション能力が育ちにくい
- ⑨：地域や保護者との関係が弱くなりやすい
- ⑩：特にない
- ⑪：分からない
- ⑫：その他具体的にあればご記入ください

問6	小規模（人数の少ない）の学校の「よい」と感じる点はどれですか。当てはまる番号を選んでください。（3つまで）
----	---

- ①：切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である
- ②：競争意識が生まれやすい環境である
- ③：多様な学習形態で授業を展開できる
- ④：多くの行事により、子どもを育てることができる
- ⑤：先生が目が届きやすく、きめ細かな指導（個別指導）がしやすい
- ⑥：全員で団結や協力がしやすい
- ⑦：個々の活動の場が増え、責任感が育てやすい
- ⑧：ゆとりや安心感など、家庭的な中で勉強ができる
- ⑨：特にない
- ⑩：分からない
- ⑪：その他具体的にあればご記入ください

問7	小規模（人数の少ない）の学校の「よくない」と感じる点はどれですか。当てはまる番号を選んでください。（3つまで）
----	---

- ①：競争意識が薄くなりやすい
- ②：友達関係がいつも同じで、友人間に序列ができる
- ③：集団活動・行事に支障がある
- ④：多様な考えに触れる機会が少ない
- ⑤：コミュニケーション能力が育ちにくい
- ⑥：PTA活動において、保護者への負担が多い
- ⑦：生徒指導上課題の見られる子どもの問題行動に、クラス全体が大きな影響を受けやすい
- ⑧：特にない
- ⑨：分からない
- ⑩：その他具体的にあればご記入ください

問 8	小・中学校において、学級数や学級の人数が減ることの影響について、あなたの考えに近いものはどれですか。当てはまる番号を選んでください。(3つまで)
-----	--

- ①：一人一人が担う部分が多くなるため、工夫・協力し合うことを学び、やりがいや責任感が生まれることが期待できる
- ②：適度な刺激や切磋琢磨する機会が少なくなる恐れや、多様な価値観が育ちにくくなることが不安である
- ③：子どもの人数が減ることで、かえって一人一人の個性や特性に応じたきめ細やかで丁寧な指導が期待できる
- ④：人間関係が固定化・序列化する恐れや、学級の中で人間関係が破綻した場合、学級編制による回避ができないことが不安である
- ⑤：学校行事で出場や発表の機会に恵まれることが期待できる
- ⑥：団体競技の種類・内容が制限されることが不安である
- ⑦：分からない
- ⑧：その他具体的にあればご記入ください

【小学校について】

問9	小学校の児童数が今後さらに減少します。これに対して、どのようにすることが望ましいと考えますか。当てはまる番号を <u>1つ</u> 選んでください。
----	--

- ①：適正な児童数を確保できない場合でも、現在の学校数のままでよい
- ②：学校を再編・統合し、適正な児童数を確保する
- ③：分からない
- ④：その他具体的にあればご記入ください

問10	問9で「①」を選んだ方にお聞きします。 当てはまる番号を <u>1つ</u> 選んでください。
-----	--

- ①：児童数や学級数が減少しても不都合はない
- ②：複式学級になっても児童が相互に学び合う活動ができる
- ③：地域の協力が得やすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい
- ④：分からない
- ⑤：その他具体的にあればご記入ください

問11	問9で「②」を選んだ方にお聞きします。 小学校の再編・統合は、今後何年を目途に行うのが良いと考え考えますか。当てはまる番号を <u>1つ</u> 選んでください。 基準は令和3年4月1日とします。
-----	---

- ①：短期的に（2～4年後） ②：中期的に（5～9年後）
- ③：長期的に（10年後以降）

【中学校について】

問 12	<u>中学校</u> の生徒数が今後さらに減少します。これに対して、どのようにすることが望ましいと考えますか。当てはまる番号を <u>1つ</u> 選んでください。
------	--

- ①：適正な生徒数を確保できない場合でも、現在の学校数のままでよい
- ②：学校を再編・統合し、適正な生徒数を確保する
- ③：分からない
- ④：その他具体的にあればご記入ください

問 13	問 12 で「①」を選んだ方にお聞きします。 当てはまる番号を <u>1つ</u> 選んでください。
------	---

- ①：生徒数や学級数が減少しても不都合はない
- ②：複式学級になっても生徒が相互に学び合う活動ができる
- ③：地域の協力が得やすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい
- ④：分からない
- ⑤：その他具体的にあればご記入ください

問 14	問 12 で「②」を選んだ方にお聞きします。 <u>中学校</u> の再編・統合は、今後何年を目途に行うのが良いと考え考えますか。当てはまる番号を <u>1つ</u> 選んでください。基準は令和3年4月1日とします。
------	---

- ①：短期的に（2～4年後）
- ②：中期的に（5～9年後）
- ③：長期的に（10年後以降）

【今後の学校の適正規模について】

問 15	今後、学校の適正規模・適正配置を検討するうえで、配慮すべきと思われる点はどのようなことだと考えますか。重要と思われる番号を2つ選んでください。
------	---

- ①：適正な児童生徒数、学級数の確保
- ②：児童生徒の通学（距離・方法・時間）とその安全
- ③：小中学校 9 年間を見通した一貫教育の推進
- ④：学校と地域の繋がりや連携
- ⑤：校舎の施設整備
- ⑥：分からない
- ⑦：その他具体的にあればご記入ください

問 16	亙理町立学校の再編（統廃合含む）について、ご意見（解決しなければならない問題を含む）があればお書きください。
------	--

ご協力ありがとうございました。